

企業現場見学会 2020 募集要項

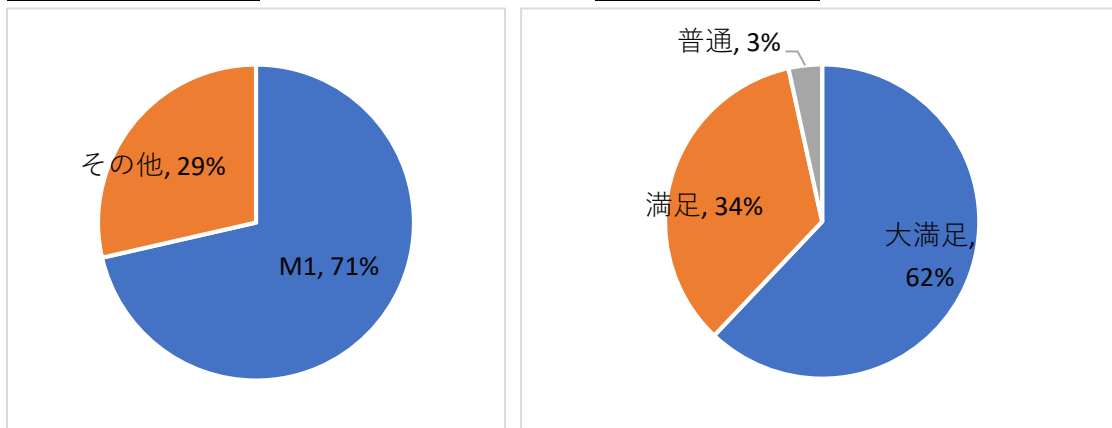
日本化学会 産学交流委員会

- ・ 開催趣旨 : 日本を支える重要な産業である化学産業の現場（工場や研究所）の見学を通じて、企業は自社の特徴や魅力、研究活動の様子を学生に直接、単なるイメージではなくリアルに五感で印象づけることが出来ます。また、化学分野の研究者、技術者を志す学生会員にとって、進学や就職を考える上での重要な判断材料となることは間違いありません。そこで企業と学生の双方向におけるコミュニケーションの場として『企業現場見学会』を実施いたします。本企画の実施により、企業と学生との交流はもちろんのこと、参加した学生会員同士の交流の促進につながることを期待します。
- ・ 開催時期 : 9月1日～10月15日のうち1日をご指定ください
(指定期間外を希望される場合はご相談ください)
- ・ 募集対象企業 : 本会法人会員であり、見学受入協力が可能な企業
- ・ 実施内容 : 学生会員を対象とした半日程度の工場や研究所の見学会の実施
 - ※ 見学会の内容および最小・最大催行人数は各社で自由に設定頂けます
(見学に限らず研究所長による講演や若手社員との座談会・意見交換会、懇親会など)
 - ※ 参加する学生会員は現地集合、現地解散を原則とします
 - ※ 当日の運営や開催報告記事用の写真撮影などは各社でお願いします
 - ※ 本会職員は当日現場には赴きません
- ・ 参加対象者 : 本会学生会員に限ります
- ・ 申込方法 : フォームよりお申込ください <https://event.csj.jp/form/view.php?id=436229>
- ・ 申込〆切 : 5月15日(金)
- ・ 事務手続手数料 : 110,000円(税込み)
 - ※ 最少催行人数に達しない場合やイベントをキャンセルされた場合でも、お申し込み後の事務手続料は返金できかねますのでご了承下さい
- ・ 事務手続手数料に含まれるもの :
 1. 周知・広報
 - i. 本会会員宛のメール配信(化学会定期便)にて配信(6月～9月の各月2回)
 - ii. 本会会誌(化学と工業7月号)への情報掲載
 - iii. 本会ウェブサイトへの情報掲載
 2. 参加登録管理
 - i. 参加者受付サイトの作成、管理
 - ii. 参加登録受付
 - iii. 参加者名簿の作成
 - iv. 参加者への各種案内
 3. 報告
 - i. 本会ウェブサイトの新着情報への開催報告記事の掲載
 - ii. 参加者向けのアンケートの実施と結果の取り纏め
 - iii. 本会会誌(化学と工業1月号)への開催報告記事の掲載
- ・ 問い合わせ先 : 日本化学会企画部 河瀬・矢部

E-mail:sangaku@chemistry.or.jp、TEL:03-3292-6163

参考：昨年度アンケートより抜粋

◇参加者の学年内訳：70%以上が M1 の学生 ◇参加者の満足度：97%が満足と実感



◇参加者の所属一覧

[国公立] 大阪大学、大阪府立大学、奈良女子大学、京都大学、東京工業大学、名古屋大学、神戸大学、横浜国立大学、北海道大学、千葉大学、九州大学、埼玉大学、山梨大学、東京大学、信州大学、熊本大学、山口大学、静岡大学、徳島大学、広島大学、岐阜薬科大学、高知工科大学、岡山大学、首都大学東京

[私立] 東京理科大学、早稲田大学、近畿大学、東京工科大学、関西大学、上智大学、青山学院大学、東邦大学、横浜薬科大学、中央大学

[その他] 分子科学研究所、スタンフォード大学

◇参加者の声

「印象に残った点」、「他では見ることが出来ない、他の企業見学会とは違うと感じた点」はどこですか？

- ・若手技術者の生の声を聞くことができました。
- ・研究者の方が実際に研究をしていたり、ディスカッションを行なっている姿、働いている姿を見られたのは就活をする上で貴重な体験でした。
- ・短時間で必要事項が凝縮されていて良かったです。
- ・実際に普段働いている現場を見学させてもらったことで働くことの実感を得ることができました。また、技術者から生の声を聞ける貴重な体験ができて良かったです。
- ・大規模な工場はあまり他では見られないと思いました。また、積極的にコミュニケーションを取ろうと会社全体が動いている、その躍動感を肌で感じる事が出来たのは他とは違うなと思いました。
- ・研究所見学は滅多にできないので、日本化学会が主催するイベントだからこそだと感じました。